NIEワークシート／小学高学年～高校：国語、総合、朝NIE

神戸新聞 2014年03月22日 土曜日 面名 夕二社 夕4 8ページ

「風の電話」に遺族らが想い

電話ボックスにノート

母さん、見つけられず ごめんね

津波被害 岩手・大槌町

岩手県大槌町に、電話線のつながっていない「風の電話」と呼ばれる電話ボックスがある。東日本大震災による死者と遺族の思いをつなごうと、地元のガーデンデザイナーが設置、2月には実話をもとに美しい絵本が出版された。震災から3年を経ても、大切な人との〝語らい〟を求める遺族が足を運んでいる。

大槌町の高台にある、ガーデンデザイナー佐々木格さん(69)の庭園の一角に白木の「風の電話」が置かれている。中に入ると、黒電話の横に置かれたノートには、行方不明の家族に宛てたメッセージが並ぶ。

2013年10月「勝也、早く家に帰ろう 父母、祖父母より」

2014年1月「かあさんはどこに行ったの？ みつけてあげられなくてごめんね。でもいつでも家族みんなのなかに、かあさんはいるよ」

震災で約850人が死亡、約430人が行方不明の大槌町。津波が町を襲ったのは、多くの人が職場や学校で過ごしている時間帯だった。岩手県釜石市出身の佐々木さんは震災直後、リュックサックを背負い、家族の手掛かりを求めて歩き回る人々の姿を見て思った。

「家族に最後のひと言を伝えたい、という願いすらかなわないなんて」

風の電話の構想は震災前からあり、自宅の庭園に電話ボックスは準備していた。周囲に急いで草花を植え、黒電話の横にメッセージを添えた。

「風の電話は心で話します（中略）風の音が、または波の音が、あるいは小鳥のさえずりが聞こえたなら、あなたの想いを伝えてください」

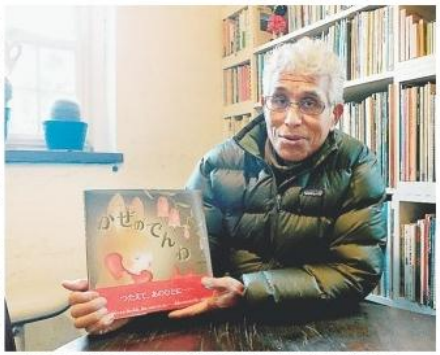
絵本「かぜのでんわ」は絵本作家いもとようこさんが手掛けた。山の上に置かれた1台の電話のもとを動物たちが訪れ、大切な人に語り掛ける様子が、美しい絵と優しい文章で描かれる。

間もなく庭園に花が咲き渡る季節。佐々木さんが庭園内につくった「森の図書館」で、絵本の原画展も開催する。

佐々木さんは「まだ立ち上がれずにいる人も多い。『風の電話』や絵本が、苦しみをはき出して、前へ進む〝心の復興〟のきっかけになれば」と願っている。

設置の男性 「苦しみ はき出して」

高台の庭園にある「風の電話」＝2月、岩手県大槌町



絵本「かぜのでんわ」を手にする佐々木格さん＝2月、岩手県大槌町

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

◆まなび～ポイント
・東日本大震災に関するニュースを新聞で探してみましょう
・最近はどのような話題が多いか調べてみましょう

【名 前 】

①遺族にとって「風の電話」はどのような存在でしょうか。

②この記事を読んでどう思いましたか。感想を書きましょう。